

みの～れってやつぱりすとい！

宇津野さんにおやこ・マタニティコンサート実行委員になつたきつかけを聞いてみました。「芸術展プロジェクトメンバーに知り合いの方が先に入つていて、声をかけてもらいました。たまたま、おやこ・マタニティ実行委員の会議がある日に、私は別の用事でみのうれに来ていたら、おやこ・マタニティ実行委員の知り合いの方から連絡があつて、「用事が済んだら来て！」と声がかかり、その日に会議に参加して実行委員のメンバーになりました（笑）。私と同じような年代の人がいるので楽しいです。私が妊娠の時に、マタニティコンサートがあることを知つて、参加したかったなと思ひました」と笑顔で話してくれました。

趣味を聞いてみると、「物作りです。アクセサリーや子どもの物を作っています。ビーズもやりますし、手芸もやります。もう、毎年、子ども達2人にハロウイン衣装を作つて写真に収めました。上の子は男の子

で今年、中学1年生になるのでやつてくれるかな？と思つています。下の子は小学2年生の女の子なので、まだまだ付き合つてくれると思います」と楽しそうに話してくれました。また、宇津野さんは、「みのうれってこの子なのに、まだまだ付き合つてくれることを知らなかつたので驚きました。知つてから友達にも『こんなやつてやつてくれているのを知らないんだよ！』って言えますよね。

コンサート会場になつたみたいですね。楽器に合わせてぴょんぴょんしても、大きな声で歌つても、すやすやとゆりかごにゆられてる気分で寝てしまつてもいいんです。赤ちゃんからコンサートに参加してもらいたいと思うから生まれた素敵なコンサートだと思います」と笑顔。新型コロナウィルスの影響が心配されますが、宇津野さんは、「コンサートが開催できるか分からぬ！」って市外の友達から言われるんですよ」と話してくれました。

また、「おやこ・マタニティコンサート実行委員会は5月31日の中川賀一さん（ピアノ）・鵜木絵里さん（ソプラノ）、ジブリやディズニーの名曲や手遊びコーナー、みんなで歌おう！パブリ

心して来ていただけるようになります」と思ひます。やりたい気持ち半分と、できるかどうか不安な気持ちが半分です。できるところまで準備を進めていきたいと思います」と話してくれました。

この取材後、政府の緊急事態宣言を受け、コンサートの中止が決定しました。来年こそは親子の笑顔があふれるコンサートが開催できることを楽しみにしています。

季り、また違つた景色を見ることができました。百花繚乱の美しい季節は私たちを癒してくれる時季でもありますね。新型コロナウイルスの影響でイベントが中止や延期になり、学校もお休みに活動が戻つて今までの生活が少しづつ変わつてしまつました。このトンネルを抜けたら、普段通りの生徒が戻つてきますよね。そう願つています。今回はおやこ・マタニティコンサートメンバーで小美玉市羽鳥地区にお住いの宇津野絵美さんを取材します。



おやこ・マタニティコンサート実行委員
「見つける・みがく・光りを当てる」芸術展
～小美玉に光を集めよう～

うつねみ
宇津野 絵美さん

「自分と同じ世代の人がいるので楽しいです」と笑顔で話す宇津野さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.154